



■ 「仰げば尊し…」 幹事 浅見憲一

4月になりました。ピカピカのランドセルを背負って小学校に入学した子供たち、そして学生時代を終えて社会で活躍を始めた人たちが、多くの人が新年度を迎えて希望に胸を膨らませていることでしょう。



3月は卒業式シーズンでした。かつての卒業式でうたう曲といえば「仰げば尊し」が定番でした。近年、それが随分と変わってきているようです。卒業は別れではなく、新たな門出の時ということなのでしょう。そのような気持ちを込めた歌が好まれているようです。長時間の中身となっていますが次をご覧ください。 <https://youtu.be/tVRfscYWvtA>

しかし私の時代はやはり「仰げば尊し」で今でも“なんて良い歌なのか”と密かに感動しています。ここで、「仰げば尊し」の歌詞を眺めてみましょう。

①仰げば尊し わが師の恩
教えの庭にも はや幾年(いくとせ)
思えばいと疾(と)し この年月
今こそ別れめ いざさらば

明治17年頃作られた歌ですので確かに日本語が難解でして、「わ

が師の恩」を「和菓子の恩」、「仰げば尊し…」を「あおげ鳩落とし」など笑える勘違いもあるのですが、頑張って歌詞をたどってみると実に味わい深いものがあります。2番、3番は次の通りです。

②互いに睦し 日頃の恩
別かるる後にも やよ忘るな
身を立て名をあげ やよ励めよ
今こそ別れめ いざさらば

③朝夕なれにし 学びの窓
螢の灯(ともしび)つむ白雪
忘るるまぞなき 行く年月
今こそ別れめ いざさらば

1番は先生への恩を、2番は互いに精進する決意を、そして3番は互いに忘れる事のない絆について語られております。

誠に感動的で読むほどに涙が流れます。

でも、この歌は昨今歌われないようです。

なぜ？その訳は

- ・わが師の恩などと押しつけがましい
- ・上下関係を決めつけており時代遅れなどと、言うのですが…
- ・先生に恩を感じてなぜ悪い！
- ・先生は尊敬される存在であれ！
- ・大切なものを忘れていいのか！

すみません…、つい興奮いたしました。

確かにこの歌詞は上から目線で押し付けられたようなところもあり、現代の若者にしてみると「自由にさせてくれ！」ということになるのでしょうか。

この4月に巣立っていく若者や一学年進級した子供たちのこれからの活躍に期待しましょう。

わが身を振り返るに、“古い”などと言って敬遠されるのも寂しいことですが、“恩”や“尊敬”といった「美しいもの」それ自体が否定され、忘れ去られてゆくのは誠に残念です。歳のせいでしょうか。

「美しいもの」が消えてゆくと言えば、“自国ファースト”を強調して他国へ圧力をかけたり人道的支援を突然打ち切ったり、大切な地球を守ろうとする温暖化対策の枠組みから離脱したり…。

大切にすべき「美しいもの」をかなぐり捨てて世界はいったいどこへ行くのでしょうか。

■ Online 会合報告 (2025. 03. 18)

今回の会合では、かつての会社が経営不振であったころ、労組

はどのような対応をしたのか当時の委員長であった宮本さんから話をしてもらうことになりました。この報告の中には具体的な話の内容は記載しませんが、労組の立場での苦

労もあれば貴重な体験もあったとも想像します。

■ 続々 トランプワールド

トランプ大統領の“俺だけ・ファースト”は加速しているようです。3月には自由貿易圏とみられていたカナダ、メキシコからの多くの輸入品に25%の関税が課されるようになり、中国には20%の追加関税を課し、4月には日本を含めてすべての国からの自動車輸入に25%の追加関税を課すとの発表がありました。

「4月2日はアメリカ製造業の解放の日」とトランプ氏は叫んでいるようです。

果たしてそうなるのでしょうか？

一度力を失った製造業は短期間のうちに回復できとは思えません。消費者は良くて安いものがあればそれを選ぶのが当然です。関税が課されて価格が高くなっても自国内で良い商品が生産できなければ、消費者は泣く泣く高くなった輸入品を買わざるを得ません。日本の自動車を例に挙げると、確かに追加関税で苦しくなるでしょうが、今後の売れ行きの推移を注視していきたいところです。

さらに関税だけで事は解決しません。トランプ氏は製造業への投資も期待しているのですが、大統領の任期は4年です。次の大統領の政策が不明なままでの投資判断は難しいところがあります。

すでに相手国が報復関税を課するような動きもあり世界の対立が深まり、今まで保たれてきた雇用や物流など経済秩序の乱れが心配されます。

カナダの報復措置が次の写真です。



Images © BuzzFeed Japan, Microsoft

米高官の出迎えにカーペットの長さを25%にしたとのこと、こんなジョークで事が済むなら幸せなことなのですが…。

■ 2025年度 国の予算案が成立

年度内成立を目指していた2025年度予算案は3月4日に衆議院を通過し、参議院に送られていましたが、参院審議の中で、8月に予定されていた「高額療養費制度」の自己負担上限額の引き上げが見送られることになりました。

参院で修正された予算案が衆院の同意を得て成立するのは現憲法下で初めてのことです。年度末ぎりぎり3月31日の衆院本会議で予算案は成立したことになりますが、本件については野党からの突き上げもあり、石破政権の少数与党国会運営には苦勞が伴うようです。

■ 財務省解体デモ

財務省解体を叫ぶデモが、昨年来から東京・霞が関の財務省前で頻繁に行われているようです。

テレビなどのマスコミではあまり報道されていませんが、SNSで伝わるところによると1000人を超える人たちが集まったとの情報もあります。3月14日、千葉県知事選に立候補していたNHK党党首が財務省前での街頭演説で、暴漢に襲われて大けがをした時も財務省の脇には多くの人が集まっている様子でした。 <https://note.com/caffelover/n/nc312188f5f62>

このデモが起きているのは次のような理由のようです。

- 1. SNSとネットの影響力 🌟 TwitterやYouTubeを中心に、「#財務省解体」のハッシュタグが拡散し、多くの人々の関心を集めた。
- 2. 財務省の政策に対する国民の不満 🌟 消費税増税や「年収の壁」問題などが、生活に直接影響を与える政策として批判を浴びている。
- 3. 政治スキャンダルの影響 🌟 石破首相の新人議員15人への商品券配布問題が国民の怒りを増幅し、デモ参加者が急増。
- 4. 既存メディアが報道しないことへの反発 🌟 デモに関するテレビ報道が少なく、逆にSNSを中心に市民の情報発信が活発化。
- 5. 各地でのローカルデモの成功 🌟 東京・大阪だけでなく、札幌・名古屋・福岡など全国12か所でデモが展開され、参加者が増加。

▶ 国の予算を一手に握り、官僚が政治家を操り、国民の声に耳を貸さない財務省の姿勢が批判の主原因なのでしょうが、既存メディアへの不満もデモの誘因としてあげられています。

■ ミャンマーの大地震

3月28日、ミャンマーでM7.7の地震が発生しました。テレビやSNSでその時の様子が伝えられていますが、被害の全容はまだ正確に把握されてはいないようです。

ユニセフは早速救援の募金活動を始めました。

<https://www.unicef.or.jp/news/2025/0049.html>

さらに現地への人道支援活動の準備を始めているとのことですが、このような災害下にあっても内紛が続けられているとの報道もあり、緊急を要する被災者の救済支援なども含めて迅速に進められるのか懸念されます。

■ 事務局から

JAMが参院選に向けて支援する「郡山りょう」氏に皆様からの支援をよろしくお願いします。本人プロフィールや政策は次をご確認ください。 <https://www.ryo-koriyama.jp/>

JAMシニアクラブ機関誌は毎月25日発行です。こちらも是非ご覧ください。 <http://jam-senior.club/> 機関誌を確認

事務局長 田代 周